

常山知子議員の12月議会 一般質問から

皆野町の危機管理について

(質 問) 近年は全国各地のある一部地域に集中豪雨が発生し、大災害が多発しています。こうした中で、いつ起こるかわからない災害に備え危機管理をしっかりとしておく必要があります。当町はどのような対策をとっていますか。

(答 弁) 町民への土砂災害、警戒区域等の周知については「地震ハザードマップ保存版」を配布、毎年9月の広報で災害時に備えるお知らせをしています。

また、町から行政区の区長もしくは自主防災組織の長へ気象情報の提供、また行政区から町への通報をお願いしています。

(質 問) 万一、「土砂災害警戒区域」「特別区域」に指定された場合、町の対応は大丈夫ですか。また、避難指示が出された場合、過疎化の進行で自力での避難が困難な人も増えています。あらゆる事態を想定し、職員が組織的に対応する体制ができていますか。

(答 弁) 「初動活動要員と緊急連絡網の整備」と併せて、「待機、初動、警戒体制(29名)」「緊急体制(59名)」「非常体制(92名)」の3段階の体制について、各職員の役割分担ができています。

保健師の増員について

(質 問) 皆野町は、町民の健康づくりを推進するために、さまざまな健康体操や「いきいきサポート」の養成に力を入れています。町の健康体操に参加した人たちが自分の住む地域で自主的にグループをつくり、健康づくりの輪を広めることは、ひいては医療費の削減にもつながります。こうしたきめ細かい取り組みをしていくためには保健師の増員が必要です。町の考えは？

(答 弁) 退職者の補充をおこないつつながら、当分は6名体制でやっていきます。さまざまな取り組みを見すえながら、保健師の体制も考えていきたい。

おでかけタクシーについて

(質 問) 利用状況については

(答 弁) 11月末までの利用状況
対象者↓207名 申請者↓135名
利用者↓66名
利用金額↓49万3千5百円

(質 問) 利用条件のバス停から1km以上離れている制限をはずす考えはありますか。8ヶ月の利用状況をみても、今年度の利用金額は100万円以内です。1kmの制限をとった場合でも、今年度の予算(660万円)と同じで十分足りると思います。

(答 弁) 基本的には、現行の制度・目的に添って助成対象地区、対象者は大幅に見直すことなく続ける考えです。

(質 問) 公共交通対策会議を立ち上げ、町民の声を聞き気軽に安い料金で外出できる、町の活性化ができるような公共交通を考えていく必要があります。町の考えは？

(答 弁) 現在、立ち上げる考えはありません。

新米議員のひとりごと

常山 知子



「秘密保護法」が成立。

この法律に反対、もつと慎重に審議をとという声が圧倒的に多い中での強行採決でした。安倍首相は記者会見で「私自身、もつといいねいに説明すべきだった、反省している」と述べました。

成立してしまえば何とでも言えます。「秘密法に不安」が七割を占めています。今国会で成立したもう一つの法案「社会保障制度改革プログラム法」なんだか近寄りたがたい名前です。医療、介護、年金、教育などの社会保障の切り下げの工程表です。どのような制度の見直しをいつまでに行うか、関連法案をいつ国会に出すかを明記しています。

すでに年金は今月から始まりました。ある人は、年2万円の減額だと怒っています。来年からは消費税増税が押し付けられるようとしています。

今年もアツという間の1年でした。年の終りにいつも思うこと。『来年こそよい年になりますように』でも、そうもいかない予感です。